

～学びと育ちの連続性～

## 浦幌小中一貫CS便り

平成27年12月4日 (NO.67)

浦幌町教育委員会  
浦幌町教育研究所



## 町P連研究大会

12月20日(日)、9時45分から、上浦幌中学校において町P連研究大会が開催され、文部科学省CSマイスターの出口寿久氏が「地域とともにある学校づくり」について講演されます。

お誘い合わせの上、ご参加いただきますようご案内します。

## 地域とともにある学校づくり推進フォーラム(東京会場)

■12月4日(金)、文部科学省において「平成27年度地域とともにある学校づくり推進フォーラム(東京会場)」が開催され、久門教育長と白井将之研究所副所長が出席してきました。



文部科学省フォーラム

### ■地域学校協働本部とは■

○地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていく仕組み。

従来の個別の活動の充実、総合化・ネットワーク化を図り、「支援」から「連携・協働」を目指す新たな体制により、大人も学び合い、地域の教育力を再生し、持続可能な地域社会を目指します。



厚内サケのさばき方教室

### 講演

#### 「CSの今後のあり方について」

兵庫教育大学 学長 加治佐哲也氏

- 中教審答申案「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について」を年内に答申する予定
- 学校運営協議会の三機能は維持する。
- 教職員の任用は、柔軟な運用を可能とする。
- 複数校で学校運営協議会を設置できる。
- 小中一貫教育などに対応する。
- 積極的にCSの設置に努める制度的位置づけ
- 「地域学校協働本部(仮称)」の全国展開

### 行政説明

学校運営支援企画官 藤原一成氏

- CS推進の必要性などについて説明されました。

### 実践発表

「事務職員の役割」甲斐市立双葉西小学校

- 8部の設置(学習、体験活動、安全、子育て、環境整備、おやじの会、ママの会)
- 事務職員がCSコーディネーターの役割を担う。

「横浜サイエンスフロンティア高校」

- 平成21年に横浜市立高等学校として初めて学校運営協議会を設置する。
- 特に大学や研究機関、企業と連携して学校運営の改善に努め、サイエンス教育を推進する。